

新型コロナウイルスワクチン接種とPCR検査の推進及び地域経済支援の拡充について

関東部会提出

新型コロナウイルスの度重なる感染拡大の抑制のため、ワクチン接種が進展し、一定の効果が表れているところでありますが、日本で接種が行われている新型コロナウイルスワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化に高い予防効果が認められているものの、予防効果については経時的に低下するとの報告もあり、持続期間に対する効果は解明されていないことから、今後とも、国による安定的なワクチン確保と迅速かつ正確な情報提供、地方自治体と連携したワクチン接種への正しい認識の普及を進めながら、継続的なワクチンの供給体制を維持することを強く要望します。

また、PCR検査は、有症状者への使用はもちろんのこと、無症状感染者による感染拡大を防ぐために活用を広げていく必要があります。PCR検査で重症化する前に感染者を発見し、加療を短期化することは、病床逼迫を緩和するためにも重要と考えます。このようなことから、PCR検査の必要性の周知や誰もがすぐに検査を受けられる体制の構築と検査機関の整備、そして検査料の助成について要望いたします。

さらに、地域経済においては、長期化し繰り返される経済活動の制限要請によって、様々な業種で企業、事業者の経営が圧迫されており、倒産や廃業、雇用情勢の悪化が進行しております。このようなことから、地域経済の回復に向けて、国による休業補償や経営環境整備のための支援等の拡充が図られるとともに、中長期的な支援の継続を要望いたします。